

まちづくりの分野6:スポーツ・文化

市民評価（まちづくりの基本目標の実現度合い（5段階評価））

⑬ 世界屈指のウインタースポーツシティ

【市民評価:現状値 3.63(2022年度)→目標値 3.80(2031年度)】

⑭ 四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

【市民評価:現状値 3.57(2022年度)→目標値 3.80(2031年度)】

⑮ 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち

【市民評価:現状値 3.36(2022年度)→目標値 3.60(2031年度)】

成果指標（再掲する指標を含む）

指 標	現状値	目標値
市民の健康寿命	男性 71.34 歳 女性 72.89 歳 (2016 年度)	男性 72.72 歳 女性 74.27 歳 (2027 年度)
冬期（12～3月）の観光客数	421 万人 (2018 年度)	451 万人 (2027 年度)
スポーツ（運動）をする市民の割合	57% (2022 年度)	70% (2027 年度)
文化芸術活動への参加割合	81.8% (2022 年度)	85% (2027 年度)

関係する SDG s のゴール



基本目標 13 世界屈指のウインタースポーツシティ

ウインタースポーツはまちににぎわいを与える大切な文化の一つであり、世界から注目される都市として魅力を高めるためには、豊富な降雪量と都市機能を合わせ持つ世界でも希少な環境を生かして、大規模な国際大会を開催するとともに、市民が身近に楽しむことができる環境を充実させることが重要です。

目指す姿

- 1 身近なところでウインタースポーツを楽しむことのできる環境が充実しています。また、札幌市で育ったウインタースポーツのアスリートが国内外で活躍しています。
- 2 豊富な降雪量と都市機能を合わせ持つ世界でも希少な環境を生かして、大規模なウインタースポーツ大会を誘致・開催し、世界から注目されています。

充実・強化する取組

○ウインタースポーツ環境の整備や大規模大会の開催と円滑な運営

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
藻岩山スキー場運営体制強化支援事業 W S2 人 ス)スポーツ部 [20 百万円]	藻岩山スキー場の持続可能な運営体制への移行に向け、課題整理や事業の枠組みについて検討調査を行います。 藻岩山スキー場の持続可能な運営体制への移行に向けた調査・検討 2022:－ ⇒ 2024:実施
アスリート発掘・育成・活用事業 W S2 人 ス)スポーツ部 [292 百万円]	優れた素質を有する子どもたちを早期に見出し、札幌から世界に羽ばたくトップアスリートを育成し、運動部活動やスポーツイベントへのアスリートの派遣による地域スポーツ活動の振興及び地域の活性化を図ります。 強化指定に選出されたアスリートの累計育成数 2022:12 人 ⇒ 2027:32 人
ウインタースポーツ普及振興事業 W S2 人 ス)スポーツ部 [431 百万円]	札幌市の特徴であるウインタースポーツを生涯にわたって親しめるよう、子どもたちへのウインタースポーツを始めるきっかけづくりと学習環境の充実を図るとともに、市民へのウインタースポーツの観戦文化の醸成を図ります。 ウインタースポーツ実施率 2022:19% ⇒ 2027:25%
冬季における子どもの運動機会増進事業 W S2 人 ス)スポーツ部 [95 百万円]	冬季における運動機会の確保及び増進のため、子どもたちに対してスポーツや身体を動かすことの楽しさを体感できる機会を提供します。 体験会等の累計参加者数 2022:－ ⇒ 2027:75,000 人

基本目標 14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち

価値観やライフスタイルが多様化する中、四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整え、スポーツの振興を進めるとともに、健康増進や共生社会の実現、地域活性化などの社会課題解決に向けた、障がい者スポーツの普及促進や、スノーリゾートとしてのブランド確立のための取組等が必要です。

目指す姿

- 1 誰もがスポーツを楽しみながら、心身共に健康で充実した生活を送っています。また、スポーツで得られた知見が市民の健康づくりなどに生かされています。
- 2 スポーツをきっかけに国内外から人が訪れ、地域経済が活性化しています。

充実・強化する取組

- 気軽に楽しむことができるスポーツ活動の場の提供
- スノーリゾートとしてのブランド化

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
障がい者スポーツセンター ¹⁴⁴ 調査検討事業 U W 人 ス)スポーツ部 [18 百万円]	障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる環境をつくるため、障がい者スポーツセンター整備に向けた検討を進めます。 障がい者スポーツセンター基本構想策定 2022:検討調査 ⇒ 2024:基本構想策定
みるスポーツ推進事業 W 人 ス)スポーツ部 [384 百万円]	プロスポーツチームとの連携や札幌ドーム等での試合開催の支援・パブリックビューイング等を行うことで、市民のみるスポーツを推進します。 直接スポーツ観戦率 2022:32% ⇒ 2027:50%
障がい者スポーツ普及促進事業 U W 人 ス)スポーツ部 [235 百万円]	障がい者スポーツに関する体験会や指導者等育成講習会を拡充し、障がいの有無に関わらずスポーツを楽しめる環境づくりを整備します。 障がい者のスポーツ活動実施率 2022:54% ⇒ 2027:57%
地域スポーツコミッション ¹⁴⁵ 事業 W 人 ス)スポーツ部 [140 百万円]	スポーツイベントの誘致等を戦略的に行うため、スポーツコミッションの運営費を補助し、国際競技大会や合宿の誘致、関係団体や道内自治体と連携したスポーツツーリズムを推進します。 スポーツを目的とした旅行者の割合 2022:6% ⇒ 2027:10%

¹⁴⁴ 障がい者スポーツセンター：障がいのある方の健康増進と社会参加の促進及び障がい者スポーツの裾野拡大から競技力向上を図るためのスポーツ施設。

¹⁴⁵ 地域スポーツコミッション：大会誘致によるスポーツ振興や観光振興、地域経済の活性化を目指して、地方公共団体、民間企業、スポーツ団体等により構成される地域レベルの連携組織。国際スポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致、支援等を行う。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
国際スポーツ大会等誘致促進事業 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [195百万円]	<p>パラスポーツ¹⁴⁶やアクションスポーツ¹⁴⁷の国際大会等を誘致するため、競技団体などの主催者に対し、札幌市が開催経費の一部を補助します。</p> <p>国際スポーツ大会等の累計誘致件数 2022:6件 ⇒ 2027:29件</p>
スノーベースタウンSAPPORO 促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [36百万円]	<p>市内及び周辺にはスキーリゾートが点在している中、アクセスが便利な札幌をスキヤーのベースタウンとし、各リゾートへの送客・周遊活性化により、道内リゾート全体のブランド力を高め、入込客増加を目指します。</p> <p>雪体験目的の来札観光客数 2022:44万人 ⇒ 2027:65万人</p>
スポーツ施設の戦略的活用促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [5百万円]	<p>多様化するニーズに対応するため、スポーツ施設の戦略的な活用を目指し、調査検討を実施します。</p> <p>総合型スポーツクラブ¹⁴⁸モデル事業検討 2022:- ⇒ 2024:実施</p>
札幌ドームアマチュア大会促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [420百万円]	<p>札幌ドームを利用して全市全道規模のアマチュアスポーツ大会を開催する際に、利用料金を低廉な金額とすることにより、市民が札幌ドームを直接利用する機会を創出します。</p> <p>アマチュアスポーツ大会にかかる札幌ドームの来場者数 2022:21,821人 ⇒ 2027:40,000人</p>
厚別公園競技場保全事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [855百万円]	<p>厚別公園競技場の世界陸連クラスⅡ認証と日本陸連第1種公認の更新のため、トラック全面改修や競技関連備品の購入を行い、全国大会や国際大会の開催ができる陸上競技場とします。</p> <p>世界陸連クラスⅡ認証及び日本陸連第1種の公認継続 2022:公認 ⇒ 2024:公認</p>
スポーツ施設再整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [9,369百万円]	<p>今後の人口減少や超高齢社会、多様化するニーズに対応したスポーツ施設の再配置・再整備を行うため、美香保体育館更新や大倉山ジャンプ競技場等の改修を実施します。</p> <p>スポーツ施設再整備の実施 2022:- ⇒ 2027:実施</p>
スポーツ施設整備費補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ス)スポーツ部 [150百万円]	<p>民間企業等が行うスポーツ施設の整備に対して、整備費の一部を補助することで、市民がスポーツに親しめる環境を整えるとともに、スポーツ活動の場を市民へ提供します。</p> <p>本事業により整備されたスポーツ施設数 2022:4件 ⇒ 2027:14件</p>

¹⁴⁶ パラスポーツ：障がい者スポーツ。

¹⁴⁷ アクションスポーツ：速さや高さ、華麗さなどの要素を持った、離れ業を売りとするスポーツの総称。

¹⁴⁸ 総合型スポーツクラブ：多様な人々がスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ったスポーツクラブ。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容	
	事業目標	
札幌ドーム周辺活用推進事業 U W S2 人 ス)スポーツ部 [-]	高次機能交流拠点である「札幌ドーム周辺」において、スポーツや集客交流産業の振興などに関わる拠点性及び札幌の魅力と活力の向上を先導することを目指した「スポーツ交流拠点」の整備を実施します。	— 2022:- ⇒ 2027:-
スポーツによる新たな健康増進推進事業 W ス)招致推進部 [6百万円]	スポーツで得られた医科学的知見等により、市民の健康増進を図る取組の検討を行います。	スポーツによる新たな健康増進推進に向けた調査 2022:- ⇒ 2024:実施
スノーリゾート推進事業 S2 人 経)観光・MICE推進部 [691百万円]	スノーリゾートシティSAPORO推進戦略に基づき、スノーリゾートとしてのブランド化に向けて、市内スキー場の魅力向上やスキー場と関連事業者の連携事業支援、冬季観光コンテンツの充実等に取り組めます。	市内スキー場来場者数 2022:99万人 ⇒ 2027:109万人
健康・スポーツを生かした地域活性化事業 W 東)市民部 [10百万円]	区民のスポーツへの関心や心身の健康意識向上のため、健康増進やスポーツ振興の取組を行う企業等と連携し、未来を担う子ども・若者たちを始めとする、幅広い世代の区民が気軽にスポーツに触れる機会を創出します。	事業参加によりスポーツ・健康への意識が向上した人の割合 2022:- ⇒ 2027:60%
とよひらスポーツ応援プロジェクト事業 W 豊)市民部 [21百万円]	スポーツによる健康で活力のある社会の実現に向けて、多数の国際規模のスポーツ施設がある区の特長を最大限に活用し、区民がスポーツを楽しむきっかけとなる場を提供します。	イベント参加者のスポーツに対する意識向上割合 2022:71% ⇒ 2027:80%

その他の事業

事業名	担当部	担当部
さっぽろアスリートサポート事業 W 人	75百万円	ス)スポーツ部
学校施設等開放事業 W	1,870百万円	ス)スポーツ部
(仮称)新琴似市民運動広場整備事業 W 人	1,049百万円	ス)スポーツ部
硬式野球場整備事業 W 人	3,610百万円	ス)スポーツ部

基本目標 15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち

あらゆる市民が気軽に文化芸術に触れられるよう、創作や表現ができる環境と文化芸術を通じた学びや交流の機会を充実させ、心の豊かさや創造性を育むほか、国際的な文化芸術イベントの開催や様々な分野との連携によりまちのにぎわいを生み出すとともに、札幌の自然・歴史・文化が未来へ継承されていくことが重要です。

目指す姿

- 1 誰もが文化芸術に親しみ、創作や表現ができる環境が整い、多様な価値観が受け入れられています。
- 2 札幌市ならではの文化が育まれ、世界に発信され、多くの人が集まるとともに、様々な分野との連携によって新たな価値が創出され、まちの魅力が向上しています。
- 3 文化・文化財を適切に保存し様々な形で生かすとともに、札幌市への愛着を深めることで、札幌市の自然・歴史・文化が未来へ継承されています。

充実・強化する取組

- 子どもや障がいのある方などによる文化芸術の鑑賞や活動へのサポート
- 国際的な文化芸術イベントの開催
- 文化財などの保全と継承の担い手の育成

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 事業目標
マンガ等を活用したまちづくり推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 政)政策企画部 [67 百万円]	文化芸術活動に広がりを持たせるとともに、マンガ等のポップカルチャー ¹⁴⁹ を活用した新たなまちづくりの可能性を検討します。 マンガ、アニメ等の展覧会に興味がある人の割合 2022:21% ⇒ 2027:40%
パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 市)文化部 [1,618 百万円]	世界の才能ある若者に最高水準の音楽教育を提供し、次世代を担う音楽家を輩出するとともに、市民に世界一流の演奏会等を提供し札幌市の文化芸術を振興するため、国際教育音楽祭の開催を中心とした事業を実施します。 PMFの認知度 2022: 51.7% ⇒ 2027:55%
札幌芸術の森魅力向上事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 市)文化部 [75 百万円]	芸術の森の魅力向上に向けた調査・検討を実施するとともに、芸術の森野外美術館の彫刻作品の修繕等を行うことにより芸術の森の魅力を向上させます。 芸術の森総来場者数(累計) 2022:410,210 人 ⇒ 2027:2,400,000 人
子どもの文化芸術体験事業 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 市)文化部 [278 百万円]	子どもが文化芸術の魅力に触れられる機会を充実するため、市内や連携中枢都市圏の小学生を対象に、様々な文化芸術の鑑賞・体験機会を提供する事業を実施します。 また文化芸術を鑑賞したいと回答した子どもの割合 2022:91% ⇒ 2027:91%

¹⁴⁹ ポップカルチャー：マンガ・音楽・映画・ファッションなどの楽しみ方やスタイル。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
障がい者向け文化芸術 体験事業 U W 人 市)文化部 [53 百万円]	障がいのある方の文化活動への参加を支援するため、文化芸術施設へ来館する機会が少ない障がいのある方に向けて、音楽ワークショップやコンサート等のイベントを行います。 障がいのある方等に向けたイベントの障がい者参加数(5年間累計) 2022:41人 ⇒ 2027:900人
サッポロ・シティ・ジャズ 事業 W 人 市)文化部 [43 百万円]	プロライブや公募バンドによる無料ライブを実施することにより、市民のジャズ鑑賞機会の提供及び観光資源としての魅力向上を図るとともに、青少年のジャズ演奏者の育成に取り組みます。 サッポロ・シティ・ジャズ年間観客数 2022:75,682人 ⇒ 2027:211,000人
文化芸術基本計画推進 事業 W 人 市)文化部 [11 百万円]	次期「札幌市文化芸術基本計画」の策定及びその後の推進に向け、実効的なアーティスト支援体制の検討や主要な文化芸術事業の精緻な検証等を行い、市民に有益な文化芸術施策の更なる充実を図ります。 札幌市文化芸術基本計画の策定 2022:- ⇒ 2024:策定
さっぽろアートステージ 事業 W 人 市)文化部 [141 百万円]	子どもや学生、アーティスト等が表現する舞台芸術・音楽・美術などの文化芸術イベントを市内各所で集中的に実施する「さっぽろアートステージ」を文化の日が属する11月に開催します。 さっぽろアートステージ参加者数(実数) 2022:13,789人 ⇒ 2027:50,000人
(仮称)札幌自然史博物 館整備推進事業 W 人 市)文化部 [96 百万円]	札幌への理解・認識を深め、郷土への愛着と誇りを育み、札幌の魅力をより高めるため、札幌の自然史に関する博物館活動を継続するとともに、博物館整備を推進することで誰もが札幌の自然史を学ぶ機会を創出します。 博物館活動センターの認知度 2022:3% ⇒ 2027:5.5%
旧札幌控訴院庁舎保存 修理事業 U W 人 市)文化部 [4,533 百万円]	重要文化財旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)の歴史的価値を末永く後世に伝えていくとともに、市民の貴重な財産として今後も公開活用していくため、庁舎の耐震補強・保存修理・活用整備等を行います。 耐震化・保存修理・活用整備の実施 2022:活用方針の決定 ⇒ 2027:工事着手
国際芸術祭事業 W S2 人 市)文化部 [1,125 百万円]	多様な分野との連携によって新たな価値を創出し、札幌ならではの文化芸術の魅力を国内外に発信するため、国際芸術祭を3年に1度開催し、芸術祭の会期外においても普及・発信等の取組を実施します。 芸術祭に参加経験がある市民の割合 2022:4.2% ⇒ 2027:11.4%
歴史文化のまちづくり推 進事業 W 人 市)文化部 [61 百万円]	札幌市・市民・有識者等が連携し、札幌市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の調査・活用等の取組を推進します。 市所有文化財への年間来場者数 2022:444,478人 ⇒ 2027:500,000人

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	事業目標
文化財施設等保全事業 W 人 市)文化部 [312 百万円]	文化部が所有する文化財施設及び郷土資料館について、計画的な保全を行うために、保全計画に基づき改修工事を実施します。また、将来に継承していくために、耐震化工事及び防火対策工事を順次実施します。 耐震改修、防災施設追加整備、その他修繕等の設計、修繕、工事の完了 2022:25 件 ⇒ 2027:59 件
時計台保存修理事業 W 人 市)文化部 [134 百万円]	札幌のシンボルである時計台について、将来に継承していくための保存工事を計画するとともに、防火対策の強化や魅力アップと更なる集客を図るための整備を検討します。 時計台の保存修理及び保全工事の実施 2022:- ⇒ 2027:修理・工事の実施

その他の事業

事業名	計画事業費	担当部
野外彫刻作品保全推進事業 W 人	69 百万円	市)文化部
文化活動練習会場学校開放事業 W	45 百万円	市)文化部
演劇公演支援事業 W 人	60 百万円	市)文化部
札幌交響楽団運営補助事業 W 人	720 百万円	市)文化部
文化芸術振興補助事業 W 人	60 百万円	市)文化部
創造都市ネットワーク活用事業 W 人	142 百万円	市)文化部
文化芸術施設リフレッシュ事業 U W 人	4,655 百万円	市)文化部
文化芸術鑑賞促進事業 W 人	101 百万円	市)文化部